

週刊 **タバコの正体**

タバコに対するみんなの声です!

(タバコ講演会後の感想文などから)

サッカーのコーチが
バスの中でタバコを
吸って困る。

小さい頃に、
歩きタバコの火が
目の近くに
当たって
火傷した
ことがある。

お父さんに
「たばこをやめてほしい。」
と頼んだら、逆に
「いつも俺がいらいらして、
おまえらにいやな思いを
させてもいいのか!!」
と言い返された。

数学の先生が、
いつも体中から
たばこの臭いがして
授業中に気に
なってしまう。

園児の親に
「タバコの煙で、
喘息発作が悪化して
死ぬこともある。」
と指導したら、
逆に「そうなくても、
その子の運命だ!!」
と切れて言われた?!

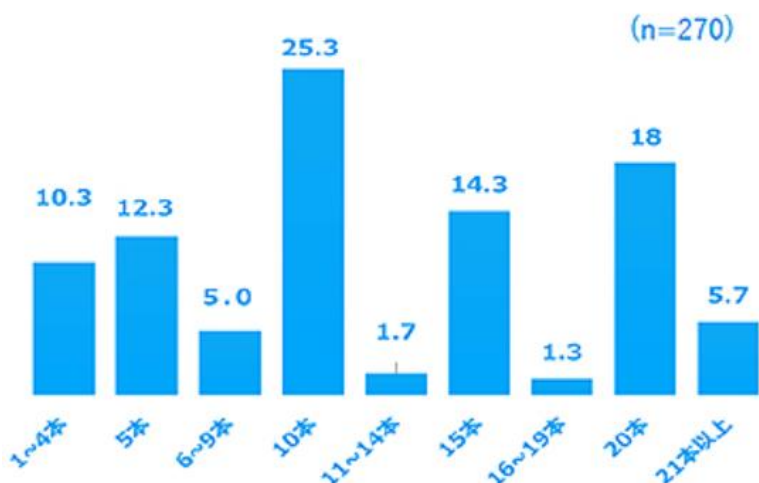
私は喘息を持っていますが、
夜中親がタバコを吸い出し、
呼吸困難でけいれんを
おこして苦しかった。
タバコをやめてくれるように
懇願したが、だめだった。

公益社団法人 受動喫煙撲滅機構 ニュースサイトから

受動喫煙撲滅機構のサイトに上のような「声」が掲載されていました。タバコの有害性が広く浸透してきた現代社会では多くの施設や場所は禁煙となっているので、こんな話はほとんど耳にしません。過去に似たような場面に遭遇した人もいないのでしょうか。

禁煙場所が増えたものの全国に約3000万人はいると推計される喫煙者たちは、どこかでタバコを吸っている。受動喫煙もどこかでおきているのです。例えば下のグラフにあるように、ある調査では休日には自宅で20本吸う人は18%もいます。こんなに喫煙すれば同居している家族も少なからずタバコの有害物質を吸い込んでいる事でしょう。

休日に自宅で吸うタバコの本数



鉄道チャンネル HP から

ニコチン依存症になると、毎日どこかでタバコを吸い続けます。そうすると、どこかで誰かを受動喫煙させてしまう可能性があります。皆さんには、この事をしっかり意識しておいて欲しいと思います。

そして、できれば身近な喫煙者に禁煙を勧めてあげてください。

産業デザイン科 奥田恭久